

「後世に伝える美」

どのような形で文化財を後世に残していくべきなのだろうか？

2年（ ）組（ ）番 名前（

）

1回目で記入

曹源寺（石川県珠洲市）（  
＜能登半島地震前＞

）坐像、（ ）世紀  
＜能登半島地震後＞



【仏像の印象】1回目で記入

【仏像の印象】1回目で記入

Q. どのような姿で曹源寺の仏像を後世に残したいですか？

Q. 曹源寺の仏像の造形には、どのような思い（願い）が込められているのだろうか？

【仏像の三つの姿】

- ①（ ）としての姿  
②（ ）としての姿  
③（ ）としての姿

Q. あなたが修復師ならば、どのような姿で曹源寺の仏像を後世に残したいですか？



<形>

- ・欠損部、外れた部分はそのままの状態にする
- ・欠損部はそのまま、外れた部分は基に戻す
- ・欠損部を補修し、外れた部分を基に戻す

<色>

- ・現在の状態のままの色にする。
- ・震災前の状態の色に戻す。
- ・作られた当時の状態の色に戻す。

【理由】

<メモ>

意見共有で気になる意見、取り入れたい視点

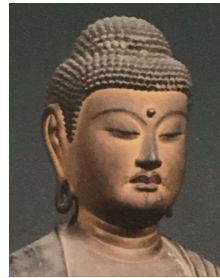
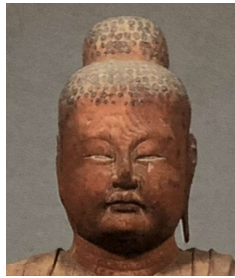
自分で新たに考察したこと

<まとめ>

2回目 ◎仏像を後世に伝える際に大切な視点について考えてみましょう。

2年（ ）組（ ）番 名前（ ）

<仏像予備知識>

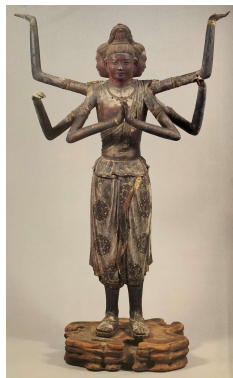


興福寺阿修羅像の修復の例を考えてみましょう。

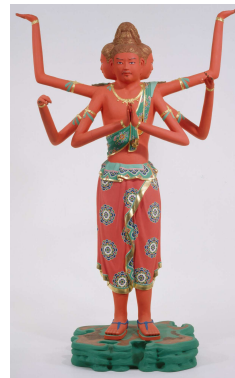
Q1. 三つの阿修羅像の印象の違いを感じ取ってみよう。



明治期の  
修復前の状態



現在見るこ  
とができる状態



復元像  
(作られた当時の状態)

【印象】

【印象】

【印象】

Q2. あなたが明治期の修復に携わったのなら、どのような姿で後世に阿修羅像を残しましたか？

<形> 腕が欠損したままにする

<色> そのままにする（彩色し直さない）

【理由】

・ 腕を付ける

・ 鮮やかな当時の色に彩色し直す

<メモ>

意見共有で気になる意見、取り入れたい視点

自分で新たに考察したこと